

私は株式会社ビジネスセンターで経営コンサルタントアシスタントとしてのお仕事をさせて頂いております。正直、この研修会に参加する前は不安な気持ちでいっぱいでした。

私事ながら、最近仕事に関して、複雑な人間関係の中で、自分自身に対して自身が持てなく、スランプ状態にあったため、新しい場で新しい人達との出会いですら、心からウキウキとした気持ちにはなれなかったのです。会場に足を運ぶと、自分が思う以上のたくさんの研修生の方がおり、一体全体何が始まるのだろうと緊張は更に増しました。しかし実際の研修会は全く持って有意義で、申し訳なく思うくらい楽しく、たくさんの方々からたくさんのエネルギーをもらえたようなものでした。

1日目は先人達の歴史を通して古くからの産業や郷土愛を育もうというテーマで、津南町にある素晴らしい風景や、名水百選である「竜ヶ窪」の探検、周辺付近の古代文化遺跡や昔の方々の生活習慣を見学しました。夜は太鼓演奏、落語と漫談で楽しみました。

2日目は世界に羽ばたき感動する心を養おうというテーマで、十日町にお住まいの田村正六氏の貴重な体験の数々をお聞きし、その後蕎麦打ち体験、染色体験をさせて頂きました。本当に一つ一つの体験した内容をお話しさせて頂くことができるのなら、時間がいくらあっても足りないくらい、私にとっては全てにおいて楽しい研修でした。

一日目はまず津南町の雄大な景色を目の当りにし、自分はなんて小さいのだろうと感じました。日頃、様々なことでクヨクヨ悩んでいることが馬鹿らしいと思えるほど、人間はとても小さいなぁと感じました。それから名水百選でもある竜ヶ窪の水の透明さに自分の心も表れるようでした。また、民族資料館では国宝にも指定された火焰土器も非常に興味深かったのですが、あえて私がびっくりしたこととして、昔の生活を見れるたくさんの小物があるコーナーで、そこには調理器具から裁縫道具、はさみ、教科書など、昔使われていた日常道具などがたくさんあったのですが、その中で玉子焼き機やおろし金もありました。おろし金は今のように機械で作られたような形ではなくて、鉄に穴をあけ、開けたところが盛り上がっている箇所がギザギザになっていて擦れるようになっていました。もちろん、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私がこの話を興味深く私どもの社長や両親に話すと、実際にそれを使っていたと聞いて、更にびっくりしました。非常に小さなことかもしれませんが、自分が生まれてから既にそこにあるものには、何の疑問も持たず使っているなぁと思います。実際には今あるものをより良く、より効率的にと、人間が改良を重ね、進化していく訳ですが、その歴史を知ることがなければ、何故そうなのかなどあまり考えもしないなぁと思いました。だからこそ、人間は歴史を学び、残されたものなどから、自分たちの先祖がどう考え、どう生きてきたかを知ること、悪いものはそこで悔い改め、良いものを次世代に伝えていくことができるのではないかと思います。

夜の太鼓や落語は今まで生で見ることがなかったので、躍動感あふれる太鼓演奏は非常に新鮮で感激し、落語は大笑いしました。落語に関しては、現在新発田警察署の地域課長さんの趣味が高じたものだそうですが、あれは本当にプロそのもので、TVの笑点よりおもしろかったです。

二日目の十日町出身の田村正六氏のお話が、今回この研修に参加した私にとって最も心を揺さぶるようなものであったように思います。田村正六氏は65歳で会社を定年退職され、その後、自分の人生を有意義にしようと海外へ英会話の勉強をしに飛び立ち、ご高齢にも関わらずバンジージャン

掘岡茂君 最近、社内で結婚式ブームです。9月は秋田で、10月は札幌です。さわやかな新郎新婦を見ていると昔を思い出します。そして子供も早期誕生ばやりです。久しぶりのBOXですので2口投入。

大橋政雄君 秋ですネー

馬場直次郎君 月～土ファミリーでディズニーランドへ1泊2日で行って来ました。ガラガラでほとんど並ばず乗れました。子供は喜んで何回も何回も人気スポットに乗って喜んでいました。翌日はシーへ行ったのですが、思いの他人が出てなかったように思われました。…どうなっているのかなァ…

*9月のコメント賞は中條会員です。

ロータリー財団：

大竹保男君 笹原さん、阿部さんの入会を記念して

米山忠俊君 財団に協力してと笹岡さんと阿部さんの入会を歓迎して

新入会員紹介：

氏名 阿部 勝子

生年月日 昭和11年11月9日

会社名 (有) リズ

役職名 取締役

会社住所 三条市本町2-8-5

TEL 32-0973

自宅住所 同上

家族構成 藤男(夫) 勝則(長男)

ライラ研修報告：

佐藤啓策さん

「先人達の歴史に学び世界に羽ばたく心を養おう」という研修テーマで、ライラ研修が十日町市の先の津南町にあるグリーンピア津南に於いて開催されました。私は研修に参加する内の社員2名と共に三条クラブのメンバーと一緒に車で行きました。

運良く好天に恵まれ、けいとう、コスモス、そば等の花が沿道に咲き乱れ、山又山の山奥の山村に向かって行き素朴な民家の間を通って行ったものですから、昔を思い出してしまい、タイムトンネルをくぐって行ったような気分になりました。現地は今から4500年も前に作られた火焰土器がいっぱい出土した地域です。4500年も前というとエジプトのピラミッドが出来た以前の年代になります。そしてそのデザインの美しさは目を見張るものでありまして、フランスにおける展示会に於いてはフランスのシラク大統領が15分の予定が、火焰土器の所で釘付けになった為2時間も見学したという話もありました。そして土器として我が国の国宝第一号に指定されたということです。

ライラ研修では65歳まで会社の専務をされていた十日町市の田村さんという方が、65歳で会社を退職されて単身でオーストラリアの学校に入学されたそうですが、その方の話を皆様にお知らせします。英会話の苦勞に耐えながら、向こうの学校で勉強しながら、慎重な性格で高所恐怖症な方なのに100m以上もある谷底に飛び込んだり、飛行機から飛び降りるスカイダイビングをしたりして



こられたそうです。現在70歳ですが全国を廻って青年と会って話をしたりして青年に色々教えていられまして、今度は沖縄の海に潜って20m下の海底にムー大陸を見、魚のマントに会ってくるというお話でした。

70歳になっても挑戦され続けていられる姿勢に一生青春を追求していられることを感じ、素晴らしい方だと思いました。良い生き方を教えて頂きました。

宮崎 渡さん



今回のライラ研修に参加するきっかけとなったのは「ライラ研修に参加してみないか」という課長の一言でした。「きっといい経験になるよ」と言われ、ライラ研修の案内を見せて頂いたのですが、その時の私の気持ちとしては、「面白そうだけど、私のような者が三条北ロータリーの代表として参加してもいいのかな・・・」という期待と不安が入り交じったものでした。しかし、研修を終った今は、本当に素晴らしい研修に参加させて頂けてよかったなという気持ちでいっぱいです。

今回のライラ研修で私の印象に強く残ったものとしましては、次の二つのことがあげられます。一つ目は、研修を通じて普段できないような体験を沢山させていただいたことで、二つ目は、素晴らしい友人とめぐり合えたことです。

一つ目の普段できないような体験を沢山させていただいたということにつきましては、二日間の研修のプログラム全てが貴重な体験だったと言えます。

まず、初日の一番初めに訪れたのは、津南町歴史民族資料館でした。ここでは、昔の人々が使っていた生活用品や教科書、そして国宝に指定されている火焰土器などを見させていただいたのですが、一見とても古そうな生活用品が実は、ほんのテレビが普及する少し前まで使われていたというお話を聞かせていただき、とても驚きました。

私達の世代は、便利な世の中になってからのことしか知りません。それはそれでとても恵まれていることで、感謝しなければならないことなのですが、文明化することばかりがよいことなのかと考えさせられました。昔の生活用品のような、人の温もりやあたたかさ、もっと大切にしなければいけないのではないかと思います。また、火焰土器は「まさに芸術品」という印象で、いにしえの人々の高い芸術性に感心させられました。

次に訪れました竜ヶ窪、そして河岸段丘では、澄みきった水を見ているだけで心が癒され、河岸段丘ではその雄大さに圧倒されました。そして、自然とはなんとスケールが大きいんだろうと胸を打たれました。普段なかなか自然と触れ合う機会のない私にとって、最高のリラクゼーションとなりました。その後、夜の集いでは、太鼓演奏や落語という、これもまた普段あまり見る機会の無いものを見せて頂きました。太鼓演奏は、一心に太鼓をたたき姿を見ているうちに思わず私も手に汗を握るほどの迫力でした。落語は現新発田警察署の地域課長である入山隆氏が聞かせてくださったのですが、とても趣味とは思えないほど面白く、仕事に興味にと精力的にこなしているパワーに感心させられました。

二日目は、朝のエアロビクスから始まりました。正直なところ朝は苦手なので大変ではあったの

ですが、いざエアロビクスが始まるととても楽しく、朝ご飯もおいしく頂くことができました。その後、田村正六氏の講演があったのですが、その講演の中の言葉「勇気を持って一步を踏み出すこと」は私の心の中に深く刻み込まれました。田村正六氏は65歳で会社を退職してから、海外で学んだり、スカイダイビングをしたりしてとてもチャレンジ精神旺盛な人生を歩まれています。一方私はというと、いつも考え込んでしまうという癖があり、なかなか行動に移せないといったことが多々あります。しかし、田村正六氏のお話を聞いて、これからはそんな自分を変えて、どんどん行動していかなければならないなと思いました。そして、研修の最後となった蕎麦打ちと染色体験ですが、特に蕎麦打ちが印象深いものとなりました。蕎麦をこねている時に、ロータリアンの方から「なかなかうまいねぇ」と言われ、きっととてもおいしい蕎麦を食べることができると思っていたのですが、出来上がった蕎麦を食べてみると、少しパリパリとしていました。思わず、皆で顔を見合わせたのですが、自分達で作った蕎麦を食べるという経験は初めてだったので少しパリパリとしていた蕎麦もとてもいい思い出です。このように二日間の体験全てが私にとって貴重なものでありました。

次にライラ研修に参加させて頂いて印象に残った二つ目のものとしてあげられる素晴らしい友人とのめぐり合いですが、この研修中に、モンゴル、マレーシア、アメリカ、ロシアの出身の方と親しくさせてもらい、皆様にとても多くのことを学ばせていただきました。特にモンゴル出身の友人とは、年齢も一緒ということで、話が弾みました。彼は、現在大学院で学んでおり、将来はその学んだことをいかすような職業につき、一生懸命働きたいと熱く語っていました。私も普段から仕事を一生懸命やっているつもりですが、彼のパワーに刺激を受け、負けてられないな、もっともっと頑張らなければならないなと思いました。また、ひたむきに自分の好きな機械の研究をしているというマレーシア人の友人、不登校の生徒のためにスクールをやっているというアメリカ人の友人、大学院で学んでいるというロシアの友人とのそれぞれの会話でも考えさせられることが多く、とても貴重な時間を過ごすことができたと思っています。

ライラ研修は私にとって本当に素晴らしい経験となりました。私は、このライラ研修で体験したこと、考えたことを自分の財産とするだけでなく、会社の人達や友人にも伝えていきたいと思っています。そして、今よりも、もっともっと素晴らしい社会にしていけたらと思っています。

二日間、素晴らしい体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

館 恵美子さん



まず初めに、今回このライラ研修に三条北ロータリークラブの代表として参加させて頂けたことをこの場を借りて、心より感謝申し上げます。そして、この研修会の実行にあたり、寝る間を惜しんで労を取られた十日町ロータリークラブをはじめ、十日町北、津南、新潟南ロータリークラブの皆様方におかれましては、素晴らしい土地の提供、素晴らしい講師の方からのお話を聞く機会など、たくさん実のある研修内容の中で、貴重な体験をさせて頂けたことを有難く思っております。また僭越ながら、今回この研修会に参加することを許可して下さいました私どもの社長にも感謝したいと思います。